

# 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成22年3月  
西条市（愛媛県）

## I. ポイント

### ○計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年9月)

#### 1. 概況

地域交流情報センター(新図書館)が21年6月にオープンしたことや、アクアトピア悠歩事業の実施、また、民間主導の住宅供給(栄町中、原の前東)もあり、目標指標の「歩行者・自転車通行量(休日)」及び「居住人口」の最新値において、前回調査の数値を上回る結果となった。

郊外に大規模小売店舗である「コメリパワー西条店」が、平成20年12月に開店したが、中心市街地内には同業態(ホームセンター)の店舗があることや、中心市街地から約7キロメートル離れていることなどから、影響は少ないものと思われる。

他の主要なハード事業(共同店舗整備事業、(仮称)祭り会館整備事業、地域交流施設整備事業)については、現在、国との事前協議や市内部での検討を行っているところであるため、個々の効果が現れるにはまだ時間を要するが、中心市街地の活性化を図っていくためには、それぞれの事業の連携を図っていくとともに、ソフト事業を駆使していく必要がある。

特に、共同店舗整備事業については、民間発のハード事業として事業効果の発現を期する事業であり、同事業に対する助言や対策を講じていくために、開発業務の経験が豊富なタウンマネージャーを21年度から配置している。

地域交流情報センター(新図書館)整備事業など、基本計画の主要事業は、ほぼ計画どおりに実施されており、総事業37事業のうち、7事業が完了、ソフト事業など10事業が実施中、工事など3事業が着手中、17事業が未着手である。

今後においても、計画掲載事業を確実に実現し、民間事業者や中心市街地活性化協議会等の新しい動きを着実に活性化へ繋いでいけるよう、関係者との連携を図りながら、目標の達成に向けて努力していく。

#### 2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	見通し
賑わいと回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(休日)	8,449人 (H19)	10,000人 (H24)	8,763人 (H21)	①
まちなか居住の推進	居住人口	8,873人 (H19)	9,100人 (H24)	9,046人 (H21)	①

注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

#### 3. 目標達成見通しの理由

##### (1) 歩行者・自転車通行量(休日)について

目標達成に向けた主要事業のひとつである地域交流情報センター(新図書館)がオープンしたことによ

り、隣接の調査ポイントでは通行量が増加し、また、アクアトピア悠歩事業の効果により商店街への回遊性が生まれるなど、一定の効果が見られる。

他の主要なハード事業(共同店舗整備事業、(仮称)祭り会館整備事業、地域交流施設整備事業)については、現在、国との事前協議や市内部での検討を行っているところであるが、これらのハード整備事業による効果と、レンタサイクル事業やアクアトピア悠歩事業のソフト事業によって、中心市街地内への更なる回遊性が向上し、総合的な事業効果が発現することが見込まれる。

## (2) 居住人口について

民間主導の住宅供給(栄町中、原の前東)もあり、前年度と比較して増加となった。

また、中心市街地には、平成 21 年 6 月にオープンした地域交流情報センター(新図書館)をはじめ、市役所等の官公署、医療・福祉施設や教育施設、都市公園など、多くの都市機能が集積していることや、郊外に比べて駅や病院、スーパーなどに近いなど、立地条件に優れていることが住みやすいまちとなり、居住人口の増加に繋がったと考えられる。

今後、共同店舗整備事業に併せた住宅供給も計画されていることから、同事業により新たな居住スペースが計画どおりに供給されれば、事業効果が発現すると見込まれる。

## 4. 今後の対策

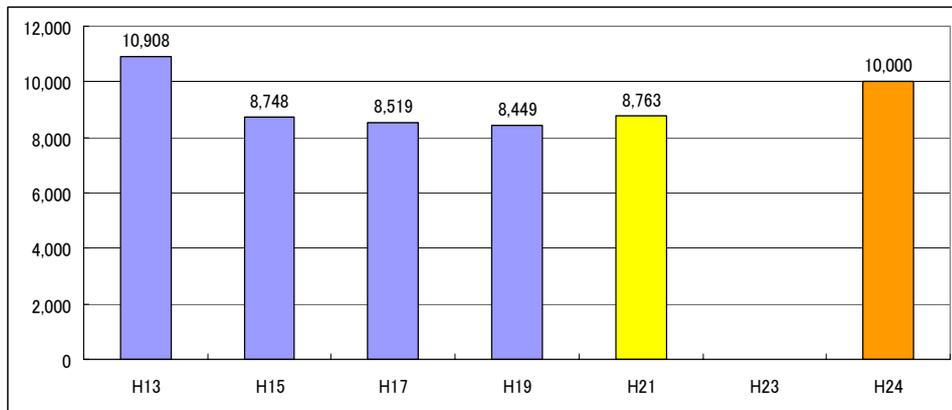
基本計画掲載事業を確実に実現していくとともに、必要に応じて、基本計画への事業の追加を検討していく。

目標「賑わいと回遊性の向上」

目標指標 歩行者・自転車通行量(休日) 目標設定の考え方基本計画 P55～P60 参照

1. 調査結果の推移

西条商店街歩行者・自転車通行量(6地点・休日)の推移



年	人/日
H19	8,449 (基準年値)
H21	8,763
H23	
H24	10,000 (目標値)

※調査月：8月

※調査主体：西条商工会議所

※調査対象：休日(10時～18時まで)の西条商店街6地点(6つの商店街の中心地点)の歩行者・自転車通行量の合計値

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 共同店舗整備事業(西条紺屋町商店街振興組合)

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	西条紺屋町商店街においてA～Eにブロックを分けて整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・A街区:生鮮食料品、スポーツジム、住宅整備(36戸)</li> <li>・B街区:店舗、コンビニエンスストア、住宅整備(46戸)</li> <li>・C街区:農林水産品展示即売、レストラン、子育て支援施設、カルチャースクール</li> <li>・D街区:店舗、レストラン、食堂</li> <li>・E街区:医療施設、デイサービス、高齢者用住宅(28戸)</li> <li>・アーケード整備</li> </ul>
事業効果又は進捗状況	基本設計の着手(22年11月予定)へ向けて、現在、国(国土交通省四国地方整備局・経済産業省四国経済産業局)と事前協議中。

②. 空き家情報発信事業(西条市)

事業完了時期	【実施中】平成22年度～
事業概要	中心市街地の空き家状況を調査し、市のホームページにより空き家の活用に向けた情報発信を行うとともに、問い合わせに対しては、個別に相談を行うなど、積極的な対応に努める。
事業効果又は進捗状況	えひめ移住交流促進協議会(県内全市町が参画)において、全県を対象とした空き家情報バンクの整備を行い、21年4月から公開しているところ。これを活用して、空き家情報を一元的に提供する。

	<p>中心市街地の空き家状況については、今後、宅建業者とも連携しながら把握に努め、同バンクに掲載していく予定。</p> <p>問い合わせについては、個別に対応している。(計画認定後～21年12月末までの相談件数は2件)</p>
--	---

③. レンタサイクル事業（西条市観光協会、西条市）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	JR伊予西条駅隣にオープンした「鉄道歴史パーク in SAIJO」への来訪客を中心市街地内へ引き込むために、JR伊予西条駅において、自転車の貸し出しを実施する。
事業効果又は進捗状況	市及び観光協会において検討中。(当初計画の自転車からパワーアシスト付自転車を貸し出しする方向で検討中)

④. アクアトピア悠歩事業（西条市）

事業完了時期	【実施中】平成24年度
事業概要	<p>JR伊予西条駅隣にオープンした「鉄道歴史パーク in SAIJO」や、平成21年6月にオープンした地域交流情報センター(新図書館)を訪れる観光客や市民を街なかへ誘導し、ゆったりと回遊してもらうための「西条水めぐりマップ」を作成・配布する。</p> <p>回遊にあたっては、約2時間の回遊ルートを設定し、商店街やアクアトピア水系を中心とする施設等を案内する。</p>
事業効果又は進捗状況	<p>街なかをゆったりと回遊してもらうための「西条水めぐりマップ」を作成し、平成20年5月から9名のボランティアガイドが、アクアトピア水系から商店街を回遊するコース(約2時間)で、観光客や市民を案内している。</p> <p>現在までに(平成21年12月末時点)、510名の参加者があった。(平成21年度参加者280名)</p>

⑤. (仮称) 祭り会館整備事業（西条市）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	地域の文化である「だんじり」をテーマとした体験型施設の整備
事業効果又は進捗状況	平成22年度に基本設計を行う予定としており、そこで既存建物の再活用が可能かどうかの判断をする。

⑥. まちかど博物館整備事業（西条商店街まちづくり協議会）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	西条まつりの観光ブランド化を推進するため、祭りの魅力を全国に情報発信するとともに、観光客の誘客活動を展開するなど、観光資源のインパクトが高まっている中で、「西条まつり」をより知ってもらうため、商店街の個店の店先や空き店舗などを活用して、町内のだんじりの下絵や

	彫刻などを解説付きで展示する。
事業効果又は進捗状況	西条紺屋町商店街に隣接する東町商店街の整備について、地元と内容を煮詰める中で、「だんじり会館」の設置も検討していることから、当該事業も含めて検討中。

⑦. 地域交流情報センター（新図書館）整備事業（西条市）

事業完了時期	【済】平成21年3月
事業概要	地域交流情報センター機能のある図書館を整備
事業効果又は進捗状況	平成21年6月のオープン後、目標指標として掲げている「歩行者・自転車通行量(休日)」の回遊が見込まれる3地点において、前回調査(H19:4,470人)と比較して、386人増加(H21:4,856人)している。

⑧. 地域交流施設整備事業（西条市）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	旧図書館を改修し、地域交流施設として整備
事業効果又は進捗状況	平成22年度に実施設計を行う予定。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に向けた主要事業のひとつである地域交流情報センター（新図書館）が平成21年6月にオープンし、同年12月末までに1日平均1,482人の利用者があった。その結果、目標指標として掲げている「歩行者・自転車通行量(休日)」についても、回遊が見込まれる3地点において、前回調査(H19:4,470人)と比較して、386人増加(H21:4,856人)している。

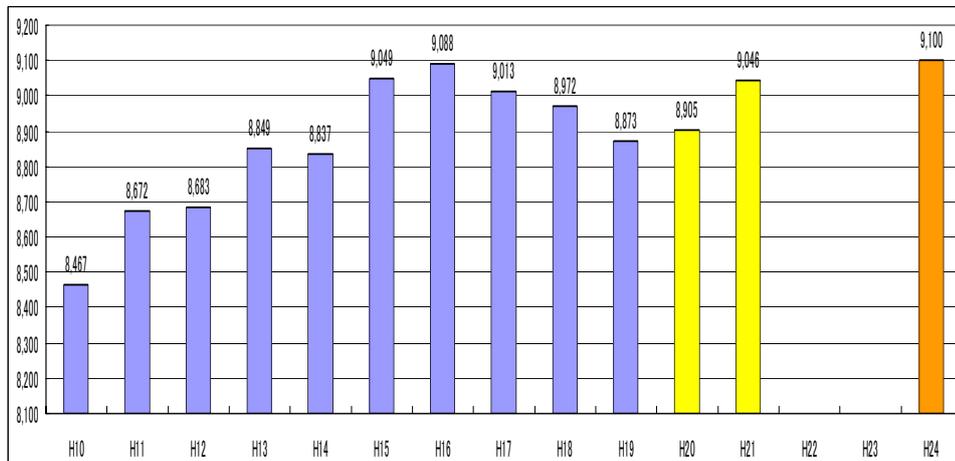
他の主要なハード事業(共同店舗整備事業、(仮称)祭り会館整備事業、地域交流施設整備事業)の着手に向けて、現在、国との事前協議や市内部での検討を行っているところであるが、これらのハード整備事業と併せて、平成19年11月にオープンした四国鉄道文化館、十河信二記念館、西条市観光交流センターとの連携を強化しながら、レンタサイクル事業やアクアトピア悠歩事業などにより、回遊しやすい取組を促進することにより、来街者の商店街利用を促進することができ、目標は達成できる見通しと考えるため、今後においては、これら事業の確実な実施に向けて進捗管理していく。

目標「まちなか居住の推進」

目標指標 居住人口 目標設定の考え方基本計画 P63～P64 参照

1. 調査結果の推移

中心市街地の居住人口の推移



年	人
H19	8,873 (基準年値)
H20	8,905
H21	9,046
H22	
H23	
H24	9,100 (目標値)

※調査月；3月

※調査主体；西条市

※調査対象；3月末日の住民基本台帳

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 共同店舗整備事業【再掲】P3 参照
- ②. 空き家情報発信事業【再掲】P3～P4 参照

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

民間主導の住宅供給(栄町中:105戸 167人、原の前東:59戸 121人)により、新規入居者による人口増となった。今後は、共同店舗整備事業に併せた住宅供給も計画されていることから、同事業により新たな居住スペースが計画どおりに供給されれば、目標は達成できる見通しと考えるため、今後においては、これら事業の確実な実施に向けて進捗管理していく。